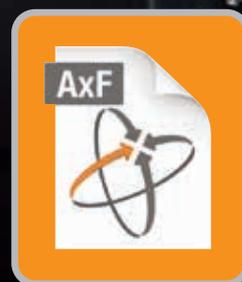




高品位マテリアル・データでワークフローを最適化

PANTORA × Ci7000 シリーズ

プラスチック向け



マスターバッチャーにとって、プラスチック・チップが成形されて製品になったときの見え方について、ブランドオーナーやデザイナーに具体的なイメージしてもらう事は簡単なことではありません。評価用のプロトタイプを作成は、輸送等に費用が掛かるため、マスターバッチャーはシンプルな形状の物を提出したり、プロトタイプを作成しない場合もあるのでブランドやデザイナーのイメージとのズレが生じる事も少なくありません。バーチャル・プロトタイプを作成すると、明確なイメージが伝達できるだけでなく、生産に入る前に量産品の色と外観のレビューができますので、結果的にプロセスの生産性を高めることができます。

Challenge

色を採択するとき、マスターバッチャーはデザイナーの要望と製造プロセスとの間の橋渡しをしなければなりません。

- デザイナーが製品コンセプト内で既存のマスターバッチカラーにアクセスしたり使用したりするのは困難です。
- プロトタイプは製造に費用がかかり、長い承認サイクルが発生します。
- プロトタイプと量産品の仕上がりの乖離が、誤った期待につながります。
- 量産が始まってから色の問題が露見すると、時間とコストのロスが発生します。

Solution

デザイナーは、サンプル・チップまたはターゲットカラーと製品のアイデアを持ってマスターバッチャーに来ることがよくあります。成形プロセスでサンプルから成型品を作成するのはマスターバッチャーです。マスターバッチャーは、最終製品になったときに色がどのように表示されるかを示すプロトタイプを作成する代わりに、PANTORA デスクトップアプリケーションを使用して正確なバーチャル・プレビューを作成し、プラスチック製品を複数の角度から視覚化し、液体または粉末で満たされたときに色と外観がどのように変化するかをシミュレートできます。X-Rite の提唱する AxF ファイル形式は、PANTORA 内でプレビュー出来るだけでなく、さまざまな業種で使用するためのサードパーティのレンダリング・ツールにインポートできます。

Result

実際の色と外観の特徴を持ったバーチャル・プレビューを作成することは、承認を得るための迅速、簡単かつ経済的な方法です。

- 色のみではなく完全な素材の外観をキャプチャすることで、より明確に仕上がりをイメージできます。
- 透明度と表面特性を正確に特性評価し、量産開始前に色の問題を除外。
- プロトタイプの作成に費やす時間とコストの無駄なしに迅速な承認を実現します。
- 物理的な材料サンプルからライブラリとして保存する事で、プロトタイプを輸送する必要性を最小限に抑えます。
- 迅速かつ容易な材料選定を実現し、デジタルリポジトリを通じて再利用を可能にします。

Workflow

ブランドまたはデザイナーが製品設計のアイデアとプラスチックチップまたはカラーサンプルを指定すると、マスターバッチはベンチトップ分光測色計を使用してターゲット色を測定し、マスターバッチレシピをデータ化します。ベンチトップの積分球での測定では、プラスチック材料の透明度と表面特性もキャプチャされ、レンダリングプログラムで正確に表現されます。

マスターバッチャーは、ベンチトップ測定から PANTORA に色と外観の情報をロードします。PANTORA は色、光沢、マテリアルタイプなどの外観の特徴を持った AxF ファイルとしてデジタルマテリアルを生成します。

その後、PANTORA はマテリアルを任意のジオメトリに適用し、仮想シーンでレンダリングして、デジタルマテリアルを使った、よりリアルな評価環境を実現します。

マスターバッチャーは、サードパーティのレンダリングソリューションまたは PLM システムを通じて、デザイナー、ブランド、およびすべての関係者にデジタルレンダリングを送信し、レビューと承認を求めます。

マスターバッチカラーが混合される前に色の変更を行うことができ、色の修正で発生する無駄を排除します。マスターバッチャーは将来のレシピのために、AxF ファイルを一元化された場所に保管、管理、参照、編集することができます。



システム構成



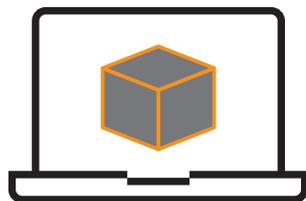
PANTORA

複雑な色と外観の大量のデータ管理を簡素化するために設計されたデスクトップアプリケーション。マテリアル・データをサードパーティのレンダリングソフトウェアや製品ライフサイクル管理 (PLM) システムなどの出力先と接続し、外観ワークフローの中心として機能します。



Ci7000 シリーズ

さまざまなモデルで利用可能な Ci7000 ベンチトップ分光測色計シリーズは、透明度と表面特性をキャプチャし、プラスチックの正確な反射色と透過色測定を実現します。



サードパーティのレンダリングソフトウェア

PANTORA を使用して作成されたマテリアルは、AxF 対応レンダリングソフトウェアを使用してブランドやデザイナーによって表示できます。ベンダーの最新のリストについては、当社のウェブサイトをご覧ください。: <https://www.xrite.com/axf>

PANTORA は、マスターバッチャーの時間とコストの無駄を削減して成形アプリケーションでプラスチックチップがどのように見えるかについて、ブランドやデザイナーと明確な期待を設定するのに役立ちます。

[商品の詳細はこちら](#)

サービス料金などご利用に際してのご相談につきましては下記までお問合せください。

エクスライト社

〒135-0064

東京都江東区青海 2-5-10 テレコムセンタービル 西棟 6F

● 電話でのお問い合わせ

03-6374-8734

● メールでのお問い合わせ

japanserviceorder@xrite.com

● 詳細情報は

<https://www.xrite.com/ja-jp/categories/appearance/total-appearance-capture-ecosystem/pantora-software>

